

平和への誓い

私たちは、これまで、平和についていろいろなことを学んできました。

一発の原子爆弾で、広島いっしゅんの空は一瞬にして地獄じごくの空に変わり、あたりは、黒く焼けただれて亡くなった人々や苦しみの叫びさけで一杯いっばいになったこと。そして、今も多くの人々が苦しんでおられること。

あの日から五十二年…。今私たちの住んでいる広島は、たくさんの緑に囲まれた美しい街です。私たちは、今の広島が、私たちのおじいさん、おばあさんなど、多くの人々の努力によってよみがえったことも学びました。

しかし、今でも、世界にはたくさんの核兵器かんきょうはかいがあると聞いています。争いでかけがえのない命うばを奪われたり、貧困や環境破壊などによって苦しんでいる人たちもいます。

学べば学ぶほど、私たちの住んでいる地球が、本当の平和な世界とは、まだ言えないことに気付きました。

平和な世界にしていくために、未来に向けて、今、私たちは何をしなければならいのでしょうか。

それは、友達と仲良くすること。人の悲しみをわかりあえる温かい社会をつくること。そして、私たち自身の生命いのちを大切にし、支え合い、希望と勇気をもって生きていくことです。たとえ一人一人の力は小さくても、みんなが力を合わせれば、平和の輪を築く大きな力になっていくと思います。

五十二回目の平和記念日むかを迎えた今日、私たちは、世界遺産になった原爆ドームの大切さを知り、核兵器おその恐ろしさを伝えていきます。そして、広島の子どもとしてもっともっと学び、世界の友達いっしょと一緒に、平和をつくりあげていくために努力することを誓います。

平成9年（1997年）8月6日

子ども代表

広島市立伴東小学校6年

広島市立大林小学校6年

すがもと
寿賀本
こう
河本

はるか
遙
けんたろう
健太郎